

要求項目

- ①新潟支社管内に在籍する車両で、散砂装置に使用している砂等の材質を調査報告すること。
- ②沿線住民及び工務・運転関連社員への対策を早急に実施すること。
- ③関係社員に対して石綿と同様の特殊健康診断を実施すること。
- ④早急に長岡車両センター構内でのリスクアセスメントを実施すること。
- ⑤他会社との連携を図り問題を解決すること。



地方本部は、機関車や気動車の散砂装置に使用している「砂」について5月、新潟支社と団体交渉を行いました。会社側の回答は以下の通りです。議論は平行線のま

本 社 団 交 議 題 に 取 り 上 げ る



NO. 915
発行
2017年
5月20日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
齊藤 仁司
編集責任者
教 宣 部

新潟支社と団体交渉 散砂装置に使用している 砂等の材質について

までした。
**強力な吸引しなければ
問題なし**

①の回答「砂撒き装置の砂は「日瓢珪砂」を使用している。会社は発がん性物質は認識しているが、強力な吸引をしなければ問題なしと認識している。
使用している車両は、キハ40・48系、C57系、DE15・DD14・DE10・EF64・81系。129系電車及び10・120系の気動車は材質が

違うので問題なし。

代替品への変更を検討

②の回答「自然界由来の物質であり、周知等の必要ないと考える。尚、代替品への変更を検討してい



るところである。
会社は、強力な吸引をしなければ問題ない、沿線住民及び乗務員等の周知については必要ない、現在は考えていない。
有害性について、思いは受け止めていく。代替品の変更は本社主導で時期は未定だ。



強く吸引する 業務は発生しない

③の回答「特定化学物質障害予防規則等の健康診断については、法令に基づき実施しているところである。
現在、この業務に関する健康診断等は義務付けされていないので実施していない。当社において砂等を強く吸引する業務は発生していないと認識している。

④の回答「長岡車両センターでは珪砂を扱う際はマスク等の防護装置を講じている。尚、JR新潟鉄道サービス(株)長岡営業所(基地)においても同様と聞いている。

新潟運輸区でも同様の処置を行っている。日瓢珪砂からの商品説明は、特に必要ない。発がん性物質についての問題は、安全データシート(SDS)などラベル等で表示しているので問題なしと認識している。

⑤の回答「JR貨物新潟支店では対象となる場合、マスク等の防護措置を講じていると聞いている。
尚、北越急行、えちごトキめき鉄道では対象となる作業は発生していないと聞いている。
EF510系機関車では、発がん性がある砂を使用しているので関連作業時は防護処置を行って作業をしているとの事。
特殊健康診断の受診については新潟支社だけで決められない事項なので申し訳ないが理解願いたい。思いは受けしていく。



本 社 団 交 で 取 り 上 げ る

○本社主導の支社回答だったので議論は平行線のままであった。
この問題は新潟支社だけで解決するのは難しいので、引き続きエリア本部と協力して本団体交渉題の一つとして取り上げていく。



珪砂の有害性

珪砂の有害性について国鉄新潟の893号で内容を記載しましたが今回の団交の結果から会社側と認識が違っていました。

会社は、強く吸引しなければ、問題は無いと回答していますが、珪砂の危険性について訴えていきたいと思えます。

発がん性がある

危険性有害性情報「発がんのおそれがあること。呼吸器系の障害・長期又は反復ばく露による呼吸器系・腎臓の障害のおそれがあります。」

注意

作業するには、防塵マスク・保護メガネ・保護手袋・作業服は長袖を着用し作業しなければなりません。



地本主催
組織拡大経験交流会の開催
6月24日(土)



この製品を使用する時は、飲食又は喫煙はしないこと。粉じん、ヒューム、ミスト、スプレーを吸引しないこと。取扱後は、よく手を洗うこと。

救急措置について

- 飲み込んだ場合は、口をすすぐこと。
- 吸引した場合は、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 目に入った場合は、水で15分注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。
- 皮膚に刺激がある時、眼の刺激が

持続する時は、医師の手当を受けること。

●ばく露した時、気分が悪い時は医師の手当を受けること。



珪砂は、貨物会社でも使用しています。新潟支店ではEF510に使用されています。給砂作業は関連会社が行っています。

現場作業では、あらゆる状況を考えなければなりません。給砂作業で誤って吸引したり、バク露、などいろいろ想定されます。

強く吸引しなければ問題ないと言っている会社側に対して、現場作業での危険性をもっと強く訴えていきます。

編集後記

5月中旬になりました。この前五泉市のぼたん園に行ってきました。ぼたん園には120品種・5000株のぼたんの大輪の花を咲かせていました。

とってもきれいでした。夜はライトアップもあるそうです。

来月、6月は、組織拡大経験交流会が開催されます。6月24日(土)です。多くの組合員の参加をお願いします。

今回は東日本本部の青年部を要請しました。交流を深めながら全体の意見交換を出し合っていきたいと考えています。

